

南風原町民平和の日 問 総務課 ☎889-4415

10月11日、南風原町平和の日(10月12日)にちなみ、南星中学校平和実行委員会による平和学習発表会が行われました。委員会メンバーの生徒7名は、戦争を自分ごととして捉えてほしいという目的を持って活動しており、今年は沖縄県平和祈念資料館での夏季研修や日向市の中学生に沖縄戦の説明を行うなど、戦争と平和についての学びを深めてきました。

発表当日は、町長や町議会議員、一般の方々に前にスライドを使い、語り口調で平和への思いを伝えていたのが印象的で、戦争をしないためにできることは戦争の愚かさを知り、平和の心を受け継いでいくことだと参加者に向けて語りました。参加者にとっては若い世代から学びつつ、改めて平和について考える貴重な機会となりました。



南風原町民平和の日

1946年10月12日、戦後の役場業務が再開されました。本町では、全ての人々が平和で豊かな生活が送れるまちづくりを願い、復興へと歩み出した10月12日を「南風原町民平和の日」と制定しています。



チャーガンじゅう元気プロジェクト贈呈式

問 保健福祉課 ☎889-3534

10月25日、8月から開催していたチャーガンじゅう元気プロジェクトで当選された320名のうち、チャーガンじゅうで賞を受賞された5名の方へ賞状と1万円分のおこめ券が贈呈されました。



〈贈呈式〉令和6年10月25日(金) 写真のお名前並び順(左から)
 おやかわりこ つぎたか みやざしんとく たえこ みやぎのりみつ
 親川成子(代理 次孝)(宮平)・宮城新徳(代理 妙子)(与那覇)・宮城教光(代理 よね子)(本部)
 おおしろ ますこ ながみね
 大城万州子(兼城)・長嶺ヨシ(津嘉山)



第45回 南風原町新春マラソン開催

問 教育総務課 ☎889-2620

【日時】1月5日(日)
 【申込締切】12月20日(金)
 【場所】黄金森公園陸上競技場
 【料金】保険料300円(小学生以下は無料)

健康の方ならどなたでも参加できます！
 事前申込み制となっており、当日申込はできません。申込・要項・コースの紹介について等、詳しくはホームページをご確認ください。



第30回 南風原町子ども平和学習交流事業

子ども平和学習交流事業は、戦争・平和・差別・人権を学習の柱に、町内の小学校6年生が仲間とともに学び、視野を広げていくことを目的とした事業です。今年で30回目を迎え、これまで事業に参加した児童は300人を超えます。

6月から学習が始まり、8月には4泊5日の県外研修を行いました。学童疎開から80年の節目にあたる今年は疎開先の宮崎県を訪問しました。子どもたちが学習を通して感じたこと、考えたことの一部をご紹介します。

県内研修

ハンセン病・沖縄愛楽園 (翔南小・久場春奈さん)

ハンセン病になった人がなぜそんなにつらい思いをしないとイケないのかなと思います。病気にかかったら看病してもらうことがふつうだと思っていたけれど、見捨てられたり、人権侵害されたりされて、とても悲しく思いました。人権侵害をしないためには正しい知識を知って、みんなに広めることだと思いました。



疎開体験者・金城シズ子さん のお話を聞いて (南風原小・大城凛佳さん)

宮崎にいくために魚雷をよけジグザグに移動していたから19日間かかったそうです。私は、19日間も立てないぐらいにゆれる中ですぐす勇気がないと思います。私も船に乗ってみて、一日を船の中ですぐすのも大変だったのに、お世話までしながら不安の中で過ごすのは、とっても大変だったんだなと思いました。



県外研修

宮崎県日向市 戦跡・疎開地めぐり (北丘小・山中理葉さん)

落鹿公会堂の近くには当時と変わらず流れ続けている用水路があり、時代は変わっても南風原の疎开学童たちと同じ道で同じ音を聞いているんだと、少しだけ疎开学童の気持ちがわかりました。高松の菅原神社には、南風原学童疎開記念碑があります。この記念碑は、南風原町には内緒でつくられました。日向市の方たちが当時は何もしてあげられなかった申し訳なさでつくったと知って、南風原町に住んでいる一人としてとてもうれしくなりました。



宮崎県 波島地区について (南風原小・大城優杏さん)

波島地区というのは、沖縄から宮崎に疎開した人達がうつり住んだ場所です。波島に住んだ人達は、養豚、養鶏、ヤミ焼酎などの商売をしていました。養豚などではおいがきついため他の人たちからけいえんされることもあったり、波島までタクシーにのって行こうとすると、「おりてください」と乗車を拒否されるなどの差別をされることもありました。それでも波島の人達はあきらめずに差別の中でも家族のために働いていて、とてもすごいなと思いました。

